

平成 29 年 11 月 1 日
株式会社日本政策金融公庫

ソーシャルビジネス関連融資 上半期実績 5,412 件、388 億円
～NPO法人向けのほか、社会的課題の解決を目的とする事業者向けの融資が増加～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）国民生活事業の平成 29 年度上半期のソーシャルビジネス関連融資実績（注 1・2）は、5,412 件（前年同期比 107.1%）、388 億円（同 110.4%）となりました（図 1）。

融資実績の内訳をみると、NPO法人向けが、806 件（同 111.3%）、48 億円（同 133.7%）と堅調に推移（図 2）しているほか、地域活性化や女性活躍推進といった社会的課題の解決を目的とする事業者向けの融資が大きく増加しています（参考 1）。

融資増加の要因としては、28 年 2 月に、ソーシャルビジネスに取り組む事業者向けの融資制度を拡充したことをはじめ、支援を強化してきたことなどが挙げられます（参考 2）。

また、資金面の支援に加え、地域で幅広くソーシャルビジネスを支援するため、地方公共団体、地域金融機関、NPO支援機関等と連携し、課題の解決を支援するネットワークの構築に取り組み、29 年 9 月末現在のネットワーク総数は「108」となっています。

さらに、次世代の担い手となる若者向けの啓発コミック誌の発行などを通じ、ソーシャルビジネスを紹介するための情報発信にも取り組んでいます（参考 3）。

日本公庫は政策金融機関として、今後も、地域社会の課題解決に取り組むソーシャルビジネスの担い手の皆さまを、積極的に支援していきます。

図 1 融資実績の推移

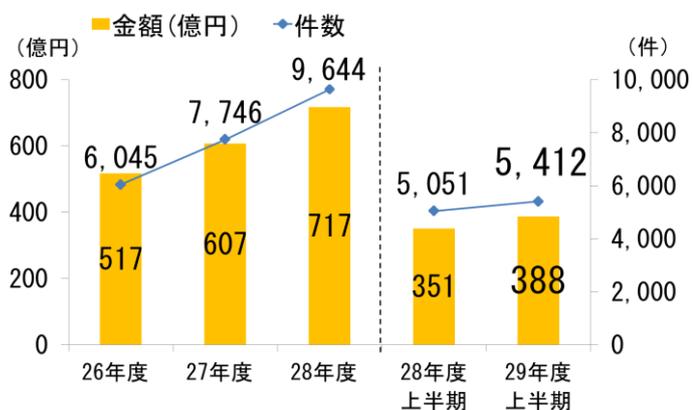
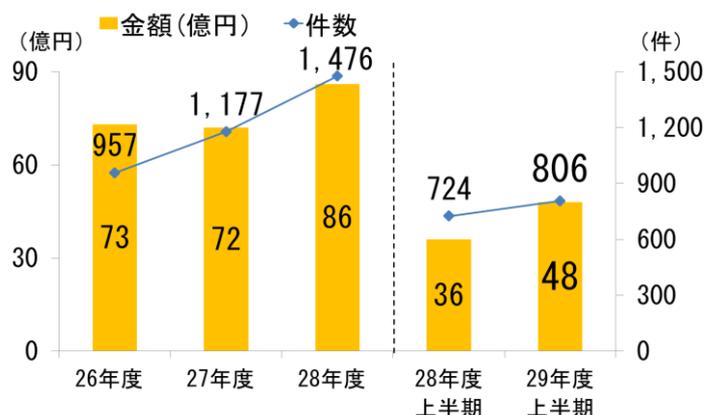


図 2 融資実績のうちNPO法人向けの推移



（注 1）ソーシャルビジネスとは、高齢者や障がい者の介護・福祉、子育て支援、環境保護、地域活性化など、地域や社会が抱える課題の解決に取り組む事業をいう。

（注 2）「①NPO法人」「②介護・福祉事業者」「③社会的課題の解決を目的とする事業者（①②を除く。）」への融資実績の合計（①と②の重複分を除く。）。

参考資料

(参考1) ソーシャルビジネス関連融資実績の内訳

		平成27年度 上半期	平成28年度 上半期	平成29年度 上半期	前年同期比
ソーシャルビジネス関連融資（注）	件数	3,810件	5,051件	5,412件	107.1%
	金額	298億円	351億円	388億円	110.4%
① NPO法人向け	件数	578件	724件	806件	111.3%
	金額	35億円	36億円	48億円	133.7%
② 介護・福祉事業者向け	件数	2,982件	3,997件	4,121件	103.1%
	金額	236億円	286億円	305億円	106.7%
③ 社会的課題の解決を目的とする 事業者向け	件数	658件	833件	1,054件	126.5%
	金額	52億円	56億円	70億円	124.3%

(注) 「①NPO法人」「②介護・福祉事業者」「③社会的課題の解決を目的とする事業者(①②を除く。)」への融資実績の合計(①と②の重複分を除く。)

(参考2) ソーシャルビジネス支援資金の概要【下線部分が平成28年2月の拡充箇所】

ご利用 いただける方	次の1または2に該当する方 1 NPO法人 2 NPO法人以外であって、次の(1)または(2)に該当する方 (1) 保育サービス事業、介護サービス事業等(注1)を営む方 (2) <u>社会的課題の解決を目的とする事業を営む方</u>
融資限度額	<u>別枠7,200万円</u> (うち運転資金は4,800万円)
ご返済期間	設備資金20年以内(うち据置期間2年以内) 運転資金7年以内(うち据置期間2年以内)
利率(注2)	基準利率 ただし、一定の要件に該当する方については、利率を低減 1 次のいずれかに該当する方は、特別利率A (1) 認定NPO法人(特例認定NPO法人を含む。) (2) <u>社会的課題の解決を目的とする事業を営む方</u> 2 <u>保育サービス事業、介護サービス事業等を営む方は、特別利率C</u>

(注1) 日本標準産業分類における老人福祉・介護事業、児童福祉事業、障がい者福祉事業等をいう。

(注2) ご返済期間、担保の有無などによって異なります。詳しくは日本公庫HPをご覧ください。

(参考3) ソーシャルビジネス啓発誌『ソーシャルビジネスってなんだろう?』



若年層の方が、ソーシャルビジネスとは何かを知り、関心を持てるよう、ソーシャルビジネスをコミック形式で紹介。具体的には、「学校の授業でソーシャルビジネスに興味を持った高校生が、3つの分野(子育て支援、地域活性化、途上国支援)でそれぞれ活躍する社会起業家へのインタビューを通じ、その意義や魅力を理解していく」というストーリー。